

「境川かわまちづくり」の活動を広げ、テーマごとに境川や周辺エリアの活動を深く議論し、実行していくため、境川で活動する団体や市民の皆さんにより「境川かわまちを進める会」を開催しています。

## 第2回境川かわまちを進める会（テーマ別開催）

令和5年3月4日（土） 13:00～18:00

各テーマが2～3グループに分かれ、「私たちが」を主語にして、かわまちづくりで行いたいことや、今後の境川かわまちを進める会で議論したいことなどを模造紙にまとめ発表しました。

また、テーマごとに今後の「境川かわまちを進める会」開催に関する事項について、市と連絡を取り合う連絡調整役を決め、メンバー間の連絡方法を確認しました。

### 当日のプログラム

1. 本で行う内容についての説明
2. テーマ別議論、発表
  - ① テーマに沿ったかわまちづくりで行いたいこと
  - ② 今後の境川かわまちを進める会で議論したい内容
3. 役割決め・連絡先の交換

テーマ	時間
歴史・文化	13:00～14:30
水辺・水面の利用	14:45～16:15
水・自然環境	16:30～18:00

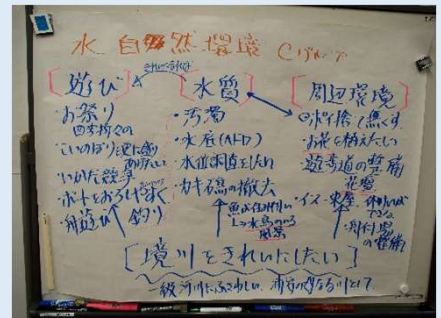
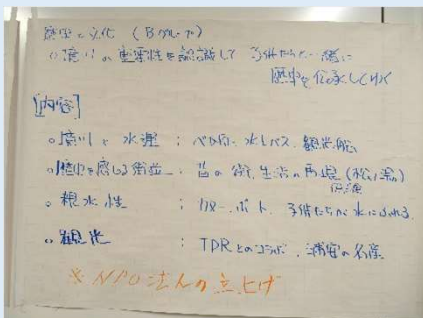
テーマ：歴史・文化



テーマ：水辺・水面の利用



テーマ：水・自然環境



— 発表された主な意見—  
(今後、かわまちづくりで行いたいことなど)

### 歴史・文化

- 元町、中町、新町を繋ぐのは境川である。境川の役割として、3つのまちを統合していく一つのシンボルと考えたらいいのではないか。
- 元町だけではなく、中町、新町の原風景を伝えていくことも大事である。
- 昔の写真を見せたり、べか舟を定期的に運航するなど、原風景を伝えていくことは、歴史・文化の学びに繋がる。
- 灯ろう流しや水神祭などのイベントを通じて境川の歴史を伝えていく。
- 境川の使い方や周辺の景観などに関するルールづくりをする。
- 境川の重要性を認識して、子どもたちと一緒に歴史を伝承していく。

### 水辺・水面の利用

- ボート・舟遊びのための船着場を作る。船着場は防災拠点にもなりえる。
- すでに境川で行われているイベントの年間スケジュールを作成したり、境川にアクセスしやすい施設をつくるなど、既存の活動が行いやすくなるようにかわまちづくりの制度を活用する。
- アートやマラソン、ウォーキング、コンサートなどのイベントの実施方法について議論していきたい。
- 市民意識の醸成として水上スポーツの聖地にする。カヌーの授業を行う。
- カフェ、屋台、テラス、川の駅、海の駅などがあれば川自体が賑わってくる。これらの運営方法について議論していきたい。

### 水・自然環境

- 境川の水をきれいにするために水門の開閉やポンプを使って水の流れを作ることを検討する。
- ごみ拾いもみんなでやらなくてはならない。ごみのポイ捨てをなくしたい。
- 水底にあるヘドロがにおいや汚濁の原因になっていることが懸念されるため、ヘドロはすくった方がいい。
- 境川に生息する希少植物であるリュウノヒゲモの実物展示を行う。
- 境川の生物を見られる「境川水槽」をつくるなど、子ども達と一緒に自然観察ができる、学んでいく場を作りたい。



浦安市 都市整備部 道路整備課 河川海岸係

TEL : 047-712-6577 FAX : 047-352-7996

E-mail : doroseibi@city.urayasu.lg.jp

境川かわまちづくりに関する取り組みの詳細は、市公式HPに掲載しています。



市公式HP  
(境川かわまちづくり)